



神々が宿るパワースポットにご満悦の一行

シルバー人材センター 互助会の高千穂旅行
旅行は、会員の親睦を目的とし、互助会が毎年実施。一泊旅行と日帰り旅行があり、一年交代。昨年は観光シーズンの10月、貸切りバスで神話の里・高千穂へ。会員40人が参加、秋の高千穂観光を楽しんだ。



高千穂峡(上)と天岩戸神社



京都から日南市へ移住
～原田さん夫妻～
シルバー会員としても活動

※日南市は、人口減少対策や地域の活性化を目的とした定住・移住支援事業を展開、市内への移住者を後押ししている。



原田天さん、裕子さん夫妻

市外から日南市へ移住する人たちが増えている。シニア世代では、京都出身の原田天さん(行政書士)、裕子さん夫妻もそう。
老後の生活を暖いところでのんびりと過ごしたいと安住の地を探し求めているうち、日南市の魅力にひかれたという。
昨年四月、移住したばかり。
海があり、自然豊か。生活環境も都会と遜色ない。共にシルバー会員としても軽度な仕事に携わりながら第二の人生をスタートさせている。

会員募集中

シルバー人材センターは、高齢者が組織的に働くことを通じて、追加的収入を得るとともに、健康を保持し、地域社会に貢献するという「自主・自立、共働・共助」の理念のもと活動しています。60歳以上で健康で働く意欲のある方なら男女を問わずシルバー会員になることができます。豊富な経験を活かしてみませんか。

～こんな仕事をしています～

- 会社・公共関係：敷地内の剪定・草刈り・清掃・工場での軽作業等
家庭関係：家事全般・簡易な大工仕事、植木剪定・消毒、農作業等
管理関係：施設、墓地、空き家等

※作業は、自分の体力、能力、希望に応じて選ぶことができます。対価として仕事量にあった配分金(賃金)が支払われます。

入会説明会

- 2月21日(木)
3月20日(水)
4月22日(月)

時間は午後1時半から当センターで

公益社団法人 日南市シルバー人材センター



日南本部 〒887-0033 日南市大字平山2322
TEL:0987-22-3707 FAX:0987-23-2910
南郷支部 〒889-3204 日南市南郷町中村乙7051-110
TEL:0987-64-4085 FAX:0987-64-4085

会員数

(平成30年12月末現在)

男性 192人
女性 93人
合計 285人

公益社団法人

高齢者の社会参加をサポートし、活力ある地域社会の発展を目指しています。



日南市シルバー人材センター

会報

さぼてん

第52号

花言葉に「枯れない愛」「偉大」「秘められた熱意」「温かい心」などがある。平成31年1月1日発行



日南海岸の朝日



新年のごあいさつ 理事長 谷口孝雄

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、ご健勝にて清々しい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

シルバー人材センターの事業につきましては、会員数及び受託契約件数(金額)が伸び悩み状況がつついており、依然として厳しい状況であります。平成30年度の上半年の事業実績では、対前年度、同期を若干上回る事ができました。これも偏に会員の皆様のご努力はもとより、お客様

あります市民の皆様や市役所を始め企業関係団体の皆様の格別のご理解とご協力、ご指導の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

今日、少子高齢化は急速に進み、日南市においても60歳以上の人口は市人口の45%を超えており、2人に1人が高齢者となる超高齢化社会に突入しております。一方、産業界では労働人口の減少に伴う人手不足がますます深刻になってきているのも事実です。これらの状況から、分野によってはシルバー人材センターの需要は無量大ともいえるでしょう。

豊富な知識や経験、技術を持った会員たちを活かすためにも就労場の確保を図りながら、有益な社会参加ができるよう環境整備にも力を入れ、シルバー事業を今まで以上に強固なものにしていかなければなりません。

また新規会員の拡大にも繋げて、例えば剪定業務など後継者が少ない業種での講習会等も積極的に開いて会員の養成にも力を注いでいく必要があります。適正就業の推進も重要課題の一つです。

市民の皆様信頼されるセンターを目指し、会員、役員、事務局が一丸となって取り組んでまいり所存です。

結びに、迎えた新しい年が皆様にとって明るく活力と希望に満ちた年になりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

シルバー人材センターは、国・県・市の協力を得て運営されている公益目的事業を行う団体です。



飢肥城周りで奉仕作業 日頃のご支援に感謝し汗水流す
シルバー人材センターの地域貢献策の一環

奉仕作業は昨年10月、間近に迫った飢肥城下まつりに備えて行われ、大勢のシルバー会員のほか、日南学園高校看護科二年生も参加。秋晴れの下、城内に散乱した枯れ木などの除去や砂利を敷いて石段の凹凸を整備したりした。また草刈り班の面々は、本町橋下の河川敷に車が駐車できるよう草刈り作業に追われた。



河川敷での草刈り作業



のぼりを立て啓発広報も



高校生も奉仕作業



倒れた草に手を焼く人も続出



凹凸の激しいところに砂利を敷き整備する

河川敷は、台風の影響で冠水。草はなぎ倒され、手を焼きながらの作業となったが、会員らは持ち前の底力で難なくこなし、河川敷をきれいにしていた。みんな汗だくだったが、有意義な一日となったようだった。

安全就業パトロール
当センターの安全就業委員会の会員や職員らは昨年、再三にわたり除草、剪定の作業場などを巡回し、安全就業パトロールを実施した。
パトロールでは、目立った指摘点はなかったものの、個人的に私生活面でも除草、剪定作業などに携わるケースがあるため、重大事故を防ぐための安全性の心得を徹底的に指導していた。
事故の未然防止のため、常に次の項目を呼びかけている。

- 作業は、安全第一に心がけ、急いで慌てたりしないこと。
- 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- 服装、履物は作業にあったものにする。ヘルメット着用等。
- 作業前に軽い柔軟体操をし、体をほぐすこと。
- 加齢による諸機能の低下を認識し無理をしないこと。
- 共同作業では合図、連絡を怠らないこと。
- 健康に注意し、良好な状態で作業すること。

- 1~3位入賞者
 - ①甲斐豊子
 - ②丸崎義照
 - ③蛭原忠昭
 - ④松田春美
- ホールインワン賞
 - ・年見口春樹
 - ・蓑毛ミツヲ
 - ・良本タマエ
 - ・今堀幸雄 (敬称略)



グラウンドゴルフ大会
健康づくりや交流



松田 蛭原 丸崎 甲斐



今堀 良本 蓑毛 年見口

恒例のグラウンドゴルフ大会は昨春秋、多目的運動公園であり、シルバー会員50人が参加、仕事を忘れ和気あいあいとプレーを楽しんだ。会員互助会が会員の健康づくりと親睦、交流を深めようと毎年実施している。グラウンドゴルフは、高齢者が生涯を通じて取り組める簡単なスポーツ。愛好者の中には今度こそ優勝するぞと意気込む人や集中力、機敏性を高めようと自分なりのペースでボールを叩く人も。仲間と加わった80歳代の女性は、刺激があり楽しいと歓声を上げながら盛んにクラブを振っていた。成績は、左記の通りだった。

振り込め詐欺・交通安全講話

高齢者に関わる事犯をなくそうと日南市シルバー人材センター集会所に日南署員を招き、振り込め詐欺や高齢者の交通安全の講話を聞いた。
振り込め詐欺では、詐欺の巧妙な手口などを紹介。オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺などに遭わないよう注意が喚起された。
また交通安全講話では、高齢者の飲酒運転が相変わらず多いと指摘。気のゆるみは、アクセルとブレーキの踏み違いによる事故などにも見られるといい、気の引き締めを訴えていた。



認知症サポーター養成講座

認知症の方との接し方は？
保健師らが寸劇でポイントを説明

市の保健師や認知症サポーターによる認知症サポーター養成講座では、大勢のシルバー会員が受講した。認知症高齢者に、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでもらおうというもの。市内各地で出前講座が繰り広げられている。
認知症の正しい知識、症状、支援方法などの説明があったあと、保健師らが寸劇を披露。認知症のおばあさんとお嫁さんとのやりとりを、ちぐはぐに紹介。「認知症の方の気持ちを理解し、同じ気持ちになるのが大事。温かく見守る応援者になってほしい」とアドバイスした。最後に受講の証として受講者全員にオレンジリング配られた。

行事は7月の
シルバー人材センター安全就業推進
月間の一環



会員らは我が身に関わる問題として講話を熱心に聴く一方、交代で交通安全教育車に試乗、安全運転機能をチェックしたりした。

シルバー人材センターであった講習会。交通安全教育車による安全運転機能検査を受ける会員(右)。

猛暑の中、
せつせと水路掃除



夏本番に備え、飢肥のせせらぎ水路の清掃作業をするシルバー会員。7月半ばとはいえ、連日30度を超す真夏日。暑い。猛暑の中での作業は楽ではないが、面々、昔取った杵柄は半端じゃなく、水遊びの子供たちを思い、黙々と作業に励んでいた。

草刈り 飛散防止ネットで安全性アップ
独自に試作するグループも



独自の試作ネットで作業する会員ら

道路や公園での草刈り作業中、刈払機による小石など異物の飛散防止が叫ばれている。当センターでも毎年のように賠償事故が発生しているため、草刈り班の中にはグループで知恵を出し合い、独自に飛散防止ネットを試作するところも。どれがベターなのかは分からないが、安全性が保たれれば、それに越したことはない、と会員ら。試作ネットを使いながら、公共の場での作業に迷いはなかったようだった。

安全標語入賞作品

- 最優秀賞 これぐらい 一度ぐらい 心の甘えが 事故のもと 山田進次(浜風班)
- 優秀賞 働く場は先ず安全点検を 無理せず焦らず 良い仕事 矢野安男(桔梗班)
- 優秀賞 ミーティング 目配り 気くばり 心づかい 島浦秀雄(花立班)